



LEICA M10-D

クイックスタートガイド



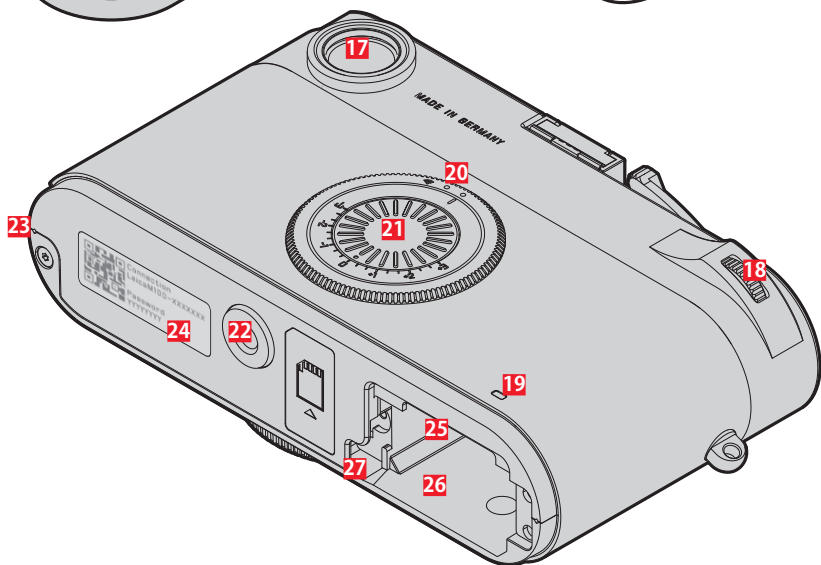
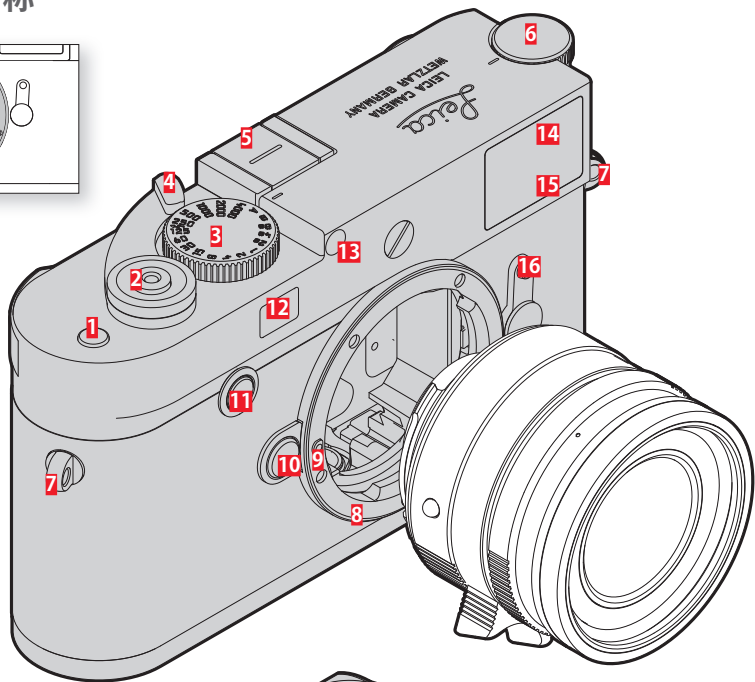
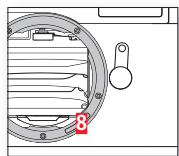
取扱説明書(詳細編)は以下のURLからダウンロードできます。

[**http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads**](http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads)

取扱説明書(詳細編)の冊子を無料でお送りします。ご希望の方は以下のURLからご注文ください。

[**www.order-instructions.leica-camera.com**](http://www.order-instructions.leica-camera.com)

各部名称

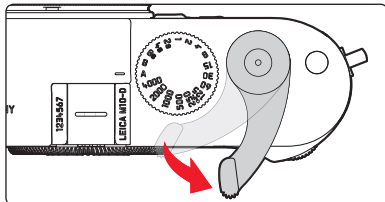


1 **ファンクションボタン**
長押し(12秒以上)で設定モード

2 **シャッターボタン**
- 半押し:
測光/露出設定機能を起動
- 全押し:
撮影
- スタンバイモード時:
カメラを再起動

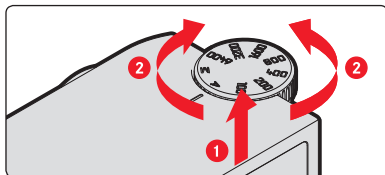
3 **シャッタースピードダイヤル
(クリックストップ付き)**
- **A**: シャッタースピード自動設定
- **4000 - 8s**: ダイヤル上に示された値
(1/2段ステップで設定可能)
- **B**: 長時間露光
(バルブまたはマニュアル操作で8秒-4
分に設定可能)
- **⚡**: フラッシュ同調速度(1/180秒)

4 **サムレスト**

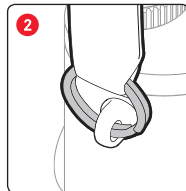


5 **アクセサリシュー**
フラッシュユニットまたはライカ ビゾフレックス
装着用

6 **ISOダイヤル**
- **A**: ISO感度自動設定
- **100 - 6400**: ダイヤル上に示された値
- **M**: ISO感度マニュアル設定



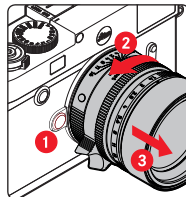
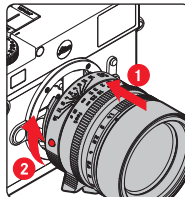
7 **ストラップ取り付け部**



8 **6ビットコード**
レンズ検出用センサー

9 **レンズマウント**

10 **レンズ着脱ボタン**



11 **フォーカスボタン**
MFアシスト起動

12 **距離計窓**

13 **輝度センサー**

14 **セルフタイマーLED**

15 **ファインダー**

16 **フレームセクター**
ブライトフレームの組み合わせ:
35/135 mm、50/75 mm、28/90 mm

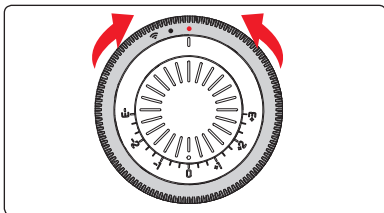
17 **ファインダー**

18 **サムホイール**
- ビゾフレックス使用時、ライブビューモード
でのズームと拡大箇所移動
- 日付/時刻設定
- 選択したメニュー項目/機能の設定

19 LEDランプ

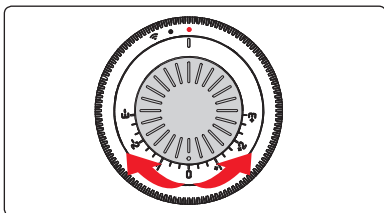
- 点滅 (緑、2 Hz) :
ワイヤレスLAN接続開始
(接続完了で消灯)
- 点滅 (緑、0.2 Hz) :
Leica App接続中
- 点滅 (赤) :メモリーカードアクセス中

20 メインスイッチ



- ● 電源を入れる
- ● 電源を切る
- 無線LAN機能起動

21 露出補正ス



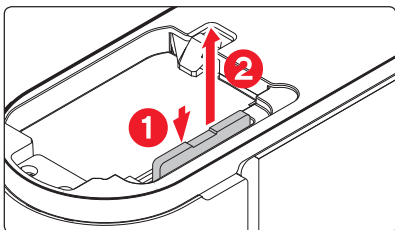
22 三脚用ねじ穴 A 1/4

(1/4インチ、DIN 4503に準拠)

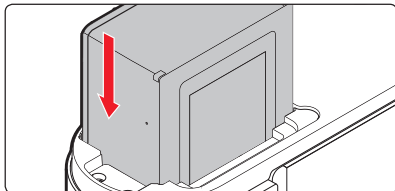
23 底蓋固定ピン

24 ワイヤレスLANアクセス用QRコード

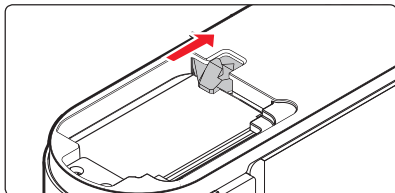
25 メモリーカードスロット



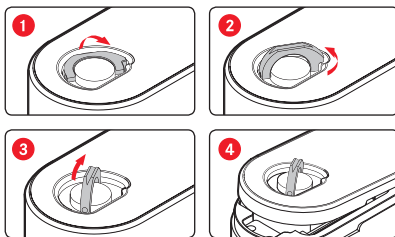
26 バッテリースロット



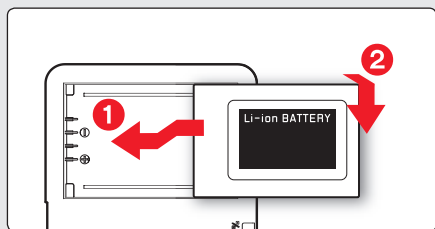
27 バッテリーロックレバー



28 底蓋開閉つまみ



バッテリーを充電する



表示	バッテリー残量	充電時間*
CHARGE 点滅 (緑)	充電中	
80% 点灯 (オレンジ)	80%	約2時間
CHARGE 点灯 (緑)	100%	約3.5時間

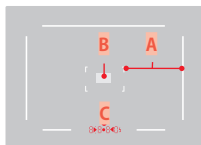
*0%の状態からの所要時間

表示

ファインダー

本機のブライトフレームファインダーは、レンズに合わせて距離計が機能する距離計連動式です。距離計と連動するレンズは、焦点距離が16～135 mmのすべてのMレンズです。

35/135 mm



28/90 mm



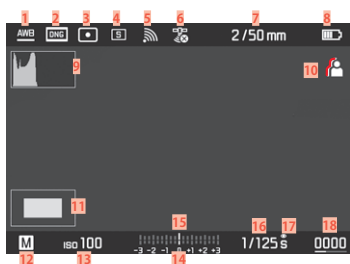
50/75 mm



ビゾフレックス

(アクセサリ、別売)

ビゾフレックス (電子ビューファインダー) は、接眼部にアイセンサーを搭載しています。ファインダーをのぞくとモニター上の表示が消え、自動的にファインダー内に表示されます。また、GPS機能が搭載されており、EXIFデータ上に位置情報を記録することができます。



A ブライトフレーム

B フォーカシングエリア

- C 8 8 8 0 - 自動設定されたシャッタースピード (絞り優先AEモード (A) 時、またはシャッタースピードが1秒より遅い場合)
- 警告表示 (絞り優先AEモード (A) 時、自動設定できるシャッタースピードが設定可能範囲を超えた場合)
 - 露出補正值 (設定中に一時的に表示)

i B ii 日付と時刻

S d メモリーカードが入っていない場合

F U L L メモリーカードがいっぱいの場合

・(点灯) AF/AEロック中

・(点滅) 露出補正中

▶ ● ◀ マニュアル露出設定時:

- 露出レベルの調整
- (三角形のLEDは、適正露出を得るためのシャッタースピードダイヤル/絞りリングを回す方向)

⚡ フラッシュ発光準備状態

1 ホワイトバランス

2 記録形式

3 測光方式

4 シャッターボタン/ドライブモード設定

5 ワイヤレスLAN

6 GPS

7 開放F値/焦点距離、またはレンズタイプ

8 バッテリー残量

9 ヒストグラム

10 フォーカスピーキング

11 ファインダー拡大表示 (ライブビューズーム)

12 露出モード

13 ISO感度

14 露出レベル

15 露出補正目盛

16 シャッタースピード

17 露出シミュレーション

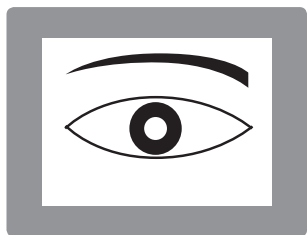
18 撮影可能枚数 (ステータスパーと同時に表示)

フォーカスモード

二重像合致式

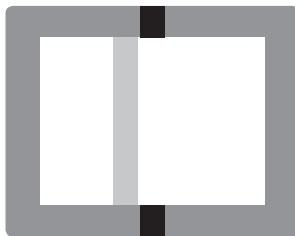


ピントが外れている

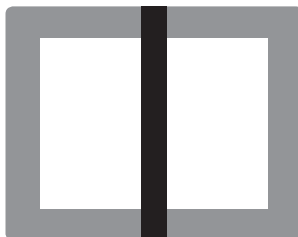


ピントが合っている

スプリットイメージ方式

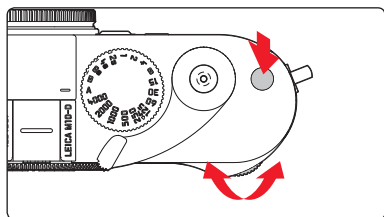


ピントが外れている



ピントが合っている

日付と時刻を設定する



- ▶ メインスイッチをIIに合わせる。
- ▶ ファンクションボタンを長押し(12秒以上)する。
- ▶ サムホイールを回す。
 - ・ 値を設定する。
- ▶ ファンクションボタンを押す。
 - ・ 次の設定に進みます。
- ▶ ファンクションボタンを長押し(12秒以上)する。
 - ・ 設定値が保存され、設定を終了します。

設定の順番

年:	8	4	0	0	0	0
月:	8	2	0	0	0	0
日:	3	1	0	0	0	0
時:	2	4	0	0	0	0
分:	5	8	0	0	0	0

初期設定	メインメニュー	サブメニュー
レンズ検出	オート	
ドライブモード	1コマ撮影	
測光モード	多分割測光	
フラッシュ設定	フラッシュ同調 最大シンクロ時間	先幕 1/f
ISO設定	M-ISO 最大ISOオート 最大露出時間	12500 12500 1/2f
ホワイトバランス	オート	
記録形式	DNG	
オートレビュー画面*	Off	
キャプチャーアシスタント	フォーカスピーキング	
EVF輝度	オート	
オートパワーオフ	10分	
GPS*	On	
Language	English	

*これらの機能はライカ ビゾフレックス (電子ビューファインダー、別売) 装着時のみ使用できます。

LEICA FOTOS APP

Leica Fotos Appは新しい高性能なデジタルツールです。より多様な撮影が可能で、このアプリケーション1つで、すべてのワイヤレスLAN対応のライカカメラに接続することができます。撮影後は接続デバイスに転送し、写真の確認、各種調整、共有などをすることができます。



テクニカルデータ

名称

Leica M10-D

形式

デジタルレンジファインダーカメラ

型番

9217

商品コード

20014

レンズマウント

ライカ Mマウント

対応レンズ

ライカMレンズ

撮像素子

CMOSイメージセンサー、有効面積 24 mm x 36 mm

記録媒体

SDカード（2 GB以下）、SDHCカード（32 GB以下）、SDXCカード（2 TB以下）

ファインダー

大型ブライトフレームレンジファインダー（パララックス自動補正機能付き）

電源（Leica BP-SCL5）

充電式リチウムイオンバッテリー

定格電圧7.4 V、容量1100 mAh；最大電力/電圧：DC 1000 mA、7.4 V；動作環境（カメラ内）：0°C～40°C；

製造：PT. VARTA Microbattery、インドネシア製

バッテリーチャージャー（Leica BC-SCL5）

入力：AC 100～240 V、50/60 Hz、300 mA、自動切り換えまたはDC 12 V、1.3 A；出力：DC 7.4 V、1000 mA/

最大 8.25 V、1100 mA；動作環境：10°C～35°C；製造：Guangdong PISEN Electronics Co. Ltd., 中国製

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN機能を使用するには、Leica Appが必要です。

Google Play Store™または、Apple App Store™でダウンロードできます。

本体

金属製：マグネシウムダイキャスト、レザー外装

本体上面、底蓋：真鍮製、ブラック

寸法

139 mm x 37.9 mm x 80 mm

質量

約 660 g（バッテリー含む）

本製品の製造日は、保証書または製品パッケージに貼付しています。表示形式：年/月/日
本書で説明する製品のデザインや仕様などは予告なく変更される場合があります。

注意事項

一般的な取り扱い

- 強い磁気、静電気、電磁波を発生する機器（電磁調理器、電子レンジ、テレビ、パソコンのモニター、ゲーム機、携帯電話、無線機など）の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- スピーカーや大型の電動機などの強い磁気により、保存した画像データが破損することがあります。
- 電磁波の影響で、本製品が正常に動作しなくなった場合は、バッテリーを入れ直してから再度電源を入れてください。
- 無線送信機や高圧線の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- 小さな付属品（アクセサリースューカバーなど）を保管するときは、次の点にお気をつけください。
 - 乳幼児の手の届くところに置かない
 - 製品パッケージの所定の位置など、紛失しない場所に保管する
- 電子機器は、人体に帯電した静電気の影響で不具合を起こす場合があります。合成繊維のカーペットの上を歩くなどすると、人体に大量の静電気が帯電します。導電性があるものの上に本製品が置かれていた場合は、本製品に触れると静電気放電がおこります。静電気が電子回路内に入らなければ、不具合は生じません。本製品は安全回路を装備していますが、安全のためアクセサリースューなどの端子部には手を触れないでください。
- レンズマウントの6ビットコード検知センサーを傷つけたり汚したりしないでください。また、砂などがマウント部に入り込まないようにお気をつけください。マウント部を傷つけるおそれがあります。お手入れの際は、これらの部分を絶対にぬらさないでください。
- 端子部をお手入れする際は、綿やリネンの布をご使用ください。レンズ用のマイクロファイバークロス（合成繊維）は使用しないでください。お手入れの前には、水道管などに触れて静電気を放電してください。また、端子部の汚れやさびつきを防ぐために、レンズキャップやアクセサリースューカバーを取り付けて、乾いた場所で保管してください。
- 指定されたアクセサリー以外は使用しないでください。故障、感電、ショートの原因になります。
- 本製品を分解・改造しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにて専門の修理担当者にご依頼ください。
- 殺虫剤などの強い化学薬品をかけないようにしてください。お手入れの際は、軽油、シンナー、アルコールも使用しないでください。薬品や溶剤によっては、本体表面が変質したり、表面の加工が剥離することがあります。
- ゴム製品やビニール製品は、強い化学物質を発生することがありますので、長期間接触させたまにしないでください。
- 雨や雪の中、または浜辺などで使用するときは、内部に水滴や砂、ほこりなどが入り込まないようにお気をつけください。レンズ交換やメモリーカード/バッテリーの出し入れの際は特にお気をつけください。砂やほこりが入り込むと、本製品、メモリーカード、バッテリーの故障の原因となります。水滴が入り込むと、カメラやメモリーカードが正常に動作しなくなったり、修理できなくなったりすることがあります。

レンズ

- レンズの正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーペと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により内部が破損しますので、レンズを保護せずに強い太陽光に向けたまま放置しないでください。レンズキャップを取り付け、日陰に置く、またはケースに収納するなど、強い太陽光が当たらないようにしてください。

バッテリー

- 指定以外のバッテリーを使用したり、本書の説明に従わずに使用しないでください。破裂するおそれがあります。
- バッテリーを直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、濡れた場所に放置しないでください。また、電子レンジや高圧容器に入れしないでください。破裂や発火の原因となります。
- 濡れたバッテリーや湿ったバッテリーは、絶対に使用したり充電したりしないでください。
- バッテリーには安全弁が付いています。誤った使い方により内圧が上昇した場合、安全弁によって圧力が低下します。膨張したバッテリーは爆発するおそれがあるため、廃棄規則に従って、すぐに処分してください。
- バッテリーの端子部は清潔に保ってください。バッテリーがショートするおそれがあるので、端子部をクリップやアクセサリなどの金属類と接触させないでください。ショートしたバッテリーは発熱することがあり、やけどをするおそれがあります。
- バッテリーを落とした場合は、外装や端子部に破損がないか確認してください。破損したバッテリーを使用すると、カメラが故障するおそれがあります。
- バッテリーの使用時や充電中に、異臭、変色、変形、発熱、漏液などの異常に気づいた場合は、カメラやバッテリーチャージャーから直ちに取出してください。そのまま使用や充電を続けると過熱して、破裂や発火の原因となります。
- バッテリーは絶対に火の中に投げ入れないでください。破裂の原因となります。
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火して発火するおそれがあります。
- 指定以外のバッテリーチャージャーを使用すると、バッテリーの故障の原因となるだけでなく、最悪の場合は死亡または重傷を負うおそれがあります。
- バッテリーチャージャーを使用するときは、コンセントの周りにほこりがたまっていないか確認してください。
- コンセントでバッテリーを充電しているときは、絶対にカーアダプターをバッテリーチャージャーに接続しないでください。
- バッテリーおよびバッテリーチャージャーを分解しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにご依頼ください。
- バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合、窒息のおそれがあります。

バッテリーチャージャー

- バッテリーチャージャーを無線受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。無線受信機から1 m以上離れてお使いください。
- 充電中に音がすることがありますが、異常ではありません。
- バッテリーを充電していない場合でも、コンセントに差し込んだままにしておく、微量の電力を使います。使用しないときはコンセントから抜いてください。
- 端子部は清潔に保ってください。また、絶対にショートさせないでください。
- カーアダプターは12 Vの電圧にのみ接続できます。またコンセントでバッテリーを充電しているときは、絶対にカーアダプターをバッテリーチャージャーに接続しないでください。

メモリーカード

- 画像の読み込み中や書き込み中は、メモリーカードを本機から取り出したり、本機の電源を切ったり、本機に振動を与えたりしないでください。
- LEDランプが点滅しているときは、カメラがメモリーカードにアクセス中です。バッテリー/メモリーカードスロットカバーを開けたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。メモリーカードに記録したデータが破損したり、カメラが故障したりするおそれがあります。
- 落としたり曲げたりしないでください。破損して記録データが消失する原因となります。
- メモリーカードの裏にある端子部に触れないでください。また、汚れやほこりが付着したり、水でぬらしたりしないようにご注意ください。
- メモリーカードは乳幼児の手が届かない場所に保管してください。乳幼児がメモリーカードを飲み込んで窒息するおそれがあります。

撮像素子

- 宇宙線の影響により(航空機内に持ち込んだ場合など)、画素に異常が生じることがあります。




キャリングストラップ

- カメラの落下を防ぐため、キャリングストラップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- キャリングストラップは丈夫な材質によって作られています。乳幼児の手の届かないところに保管してください。首に巻きつくなど、事故につながるおそれがあります。
- キャリングストラップは、カメラまたは双眼鏡を持ち運ぶ目的でのみご使用ください。傷害の原因となる可能性があるため、他の用途では絶対に使用しないでください。
- キャリングストラップが引っかかり、首が絞まるおそれがあり危険なため、登山やアウトドアスポーツの際には使用しないでください。

著作権、商標、ライセンスについて

カメラ情報

パッケージに添付されているシールをご参照ください。

 交流電流 (AC)  直流電流 (DC)	 クラスIIデバイス (これらの製品は二重絶縁で設計されています)
--	--



電気・電子機器の廃棄について

(EU諸国および分別廃棄を実施するその他のヨーロッパ諸国のみ)

この装置には電気・電子部品が含まれているため、一般家庭廃棄物として廃棄することはできません。お住まいの自治体のリサイクル協力店にご相談ください。回収は無料となっています。電池や充電電池を使用する装置を廃棄する場合は、電池や充電電池を取り外してから回収場所にお持ちいただくか、必要に応じてお住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

廃棄についての詳しい情報は、お住まいの自治体、お近くの廃棄物回収業者、またはご購入店にお問い合わせください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B